

武蔵野市学習者用コンピュータ通信

第19号

発行
武蔵野市教育委員会指導課
令和4年7月

市ホームページにも、これまでのバックナンバーを含め掲載しております。

「学習者用コンピュータ通信」を検索していただくか、QRコードでアクセスしてください。





夏の家庭学習に、学習者用コンピュータの有効活用を！

夏休みは、日頃できない活動に時間を使える貴重な期間です。充実した夏休みにするためにも、ご家庭で学習者用コンピュータを有効に活用してください。例として、以下のような活用方法があります。

観察や日々の記録	Google ドキュメント	学習者用コンピュータで写真を撮影し、旅行や月の満ち欠けの記録を書く。
	Google スライド	学習者用コンピュータで動画を撮影し、スポーツのフォームや動きの変化を記録する。
ドリル教材	「e ライブラリ」や「eboard」を活用して、自分の苦手な教科を毎日少しずつ学習する。	
調べ学習	学校の課題（セカンドスクール、職業調べ、進路学習等）、自由研究、自分の興味のあること（旅行、動物・植物、料理等）についてインターネットで調べる。	

学習ドリルのアプリ、「e ライブラリ」と「eboard」は自由に進めていただいても構いませんが、学校から指示がある場合はその通りをお願いします。なお、小学校第1学年、第2学年の児童についても、夏休み中は学習者用コンピュータを家庭に持ち帰ることを可能としております。実際に持ち帰らせるかどうかは、実態に応じて各校で判断します。

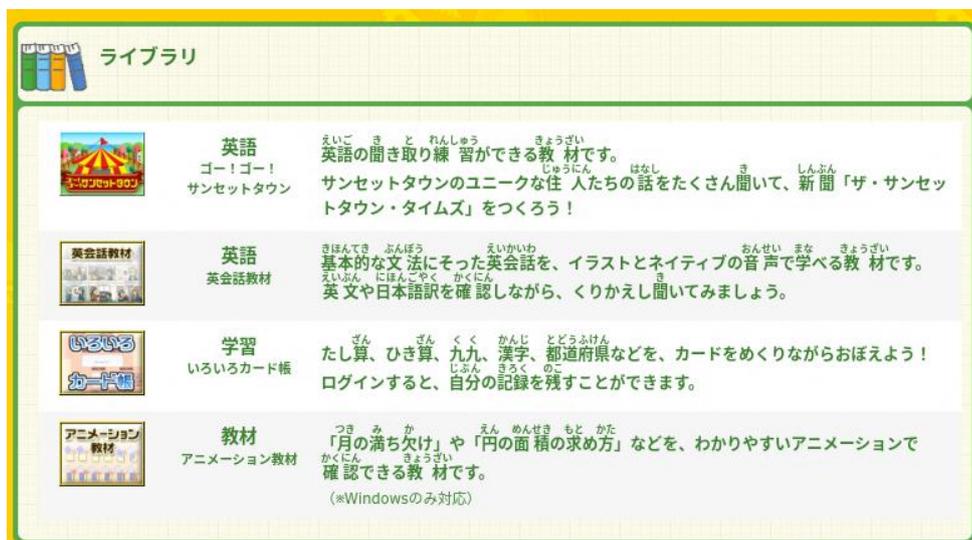
「e ライブラリ」にはドリルソフト以外にも、色々な機能があります。

ドリルソフトの「e ライブラリ」の内容をご紹介します。「ドリル」では小学校1年生から中学校3年生までの、国語・算数（数学）・理科・社会・英語の5教科の内容を学習できます。これから学習する内容を予習に利用することも、学年を超えて苦手分野の復習に利用することも可能です。自分が学習した内容は「マイページ」に記録されます。達成度が低かった問題を解きなおすなど、「学習の見直し」に活用してください。（裏面あり）



「ライブラリ」でリスニング練習も可能です。

「ライブラリ」には英語のリスニング、学習カード、動画教材が収められています。例えば「ゴー！ゴー！サンセットタウン」では英語の聞き取りをしながら、出される課題に取り組みます。



1回10分程度の内容で、再生速度を調整したり英語の字幕を出したりできるなど、難易度の調整も可能です。全部で40本のストーリーとムービーが収められているので、お子様の実態に合わせて活用してください。

The screenshot shows a character selection screen on the left and a newspaper interface on the right. The newspaper is titled 'The Sunset Town Times' and features articles about 'People & Our Town' (Ed the dog) and '動物園の仲間たち' (Friends at the Zoo). A speech bubble points to the character selection screen, and another points to the newspaper content.

だれに話を聞くか選ぼう。 (Choose who to talk to.)

小字！平易組 (Small characters! Easy group)
漢字！標準組 (Kanji! Standard group)

難易度の違うリスニング問題が用意されています。

リスニング問題を聞いて課題に取り組むと、新聞が作成されます。

夏休みを、学習者用コンピュータの使い方を見直す機会にしましょう。

学習者用コンピュータは、学習に使用するための道具です。学習以外に使用していないか、使用する際の姿勢や目と画面との距離など健康を害するような使い方になっていないかなど、夏休みの間に使い方についてご家庭で話し合う機会を作ってください。ご家庭で話し合う機会を作ることが、子どもたちの自律的に ICT と関わる力を育成することにつながります。